

油圧作動油⑤〔日本工業規格 JIS外〕

近年、脂肪酸エステル系作動油は、生分解性潤滑油として注目を集めており、万が一自然界に排出されても、生分解度がたかく環境にやさしいオイルとして位置づけられるようになりました。

鉱物油系作動油からの切り替えが容易であるため、ISO14000に代表される環境マネジメント対策に適しております。

《生分解性作動油の特徴》

- ①日本環境協会のエコマーク商品に認定されている。
- ②森林、河川、農場、湖沼、海岸の環境を守ります。
- ③水門用開閉装置、水中建設機械、ダムの油圧装置
- ④バイプロハンマー、ダウンザホールハンマー等

【生分解性・油圧作動油】

粘度区分 ISO VG	日油	JXエネルギー	出光興産 (ダフニ-)	コスモ石油	シェル石油	エクソンモービル
22	ミルループ E-22A		ビオスハイドロ 22SE			
粘度指数	211		141			
流動点	-30.0℃					
容量	18L 200L		20L 200L			
32	ミルループ E-32A		ビオスハイドロ 32SE		ナチュラルレ HF-E32	
粘度指数	189		170		210	
流動点	-30.0				-60.0	
容量	18L 200L		20L 200L		209L	
46	ミルループ E-46A	ハイランドジネン 46	ビオスハイドロ 46SE	テラフルード E-46	ナチュラルレ HF-E46	EAL-224 46
粘度指数	186	188	188	193	210	
流動点 °C	-30.0	-30.0		-52.5	-50.0	
容量	18L 200L	20L 200L	20L 200L	18L 200L	209L	208L
56	ミルループ E-56			テラフルード E-56		
粘度指数	178			185		
流動点	-37.5			-32.5		
容量	18L 200L			18L 200L		

※ミルループは、国土交通省のNETISに登録されています。(登録No. KK-080006-A)